

企業理念

オリックスは、たえず市場の要請を先取りし、先進的・国際的な金融サービス事業を通じて、新しい価値と環境の創造を目指し、社会に貢献してまいります。

経営方針

1. オリックスは、お客さまの多様な要請に対し、たえず質の高いサービスを提供し、強い信頼関係の確立を目指します。
2. オリックスは、連結経営により、すべての経営資源を結集し、経営基盤の強化と持続的な成長を目指します。
3. オリックスは、人材の育成と役職員の自己研鑽による資質の向上を通じ、働く喜びと誇りを共感できる風土の醸成を目指します。
4. オリックスは、この経営方針の実践を通じて、中長期的な株主価値の増大を目指します。

行動指針

Creativity

先進性と柔軟性を持って、たえず創造力あふれる行動をとろう。

Integration

お互いの英知と情報を結合させ、人間的なふれあいを通じて、グループ力を高めよう。

ブランドストーリー

オリックスは、多様な活動を通じて経済や暮らしに新たな活力を与え、いきいきとした社会づくりに貢献していきます。

そのために、お客さまを深く理解し、ニーズや課題に対して諦めずに取り組むことで、確かな信頼関係を築くことを大切にしています。

また、専門性を高めた幅広い事業の連携と、オリジナルな視点の提案で、新たな発見や喜びをお届けする企業でありたいと思っています。

「また、オリックスで。」と言っていただけるよう丁寧な気配りと最適なサービスの提供を心がけ、私たちは日々努力してまいります。

“企業や人々に新たな「活力」を。”

オリックスは、これからも挑戦し続けます。

オリックス統合報告書2021について

対象範囲

オリックス株式会社および国内外のグループ会社

対象期間

2021年3月期（2020年4月1日～2021年3月31日）。

※一部に、対象期間以前・以後の活動や情報も含まれています。

参考にしたガイドライン

- ・国際統合報告評議会（IIRC）
「国際統合報告フレームワーク」
- ・経済産業省「価値協創のための
統合的開示・対話ガイダンス」



編集方針

「オリックス統合報告書2021」の編集においては、財務情報と非財務情報を合わせて掲載することで、株主・投資家をはじめとする幅広いステークホルダーの皆さまに、オリックスの持続的な成長を多面的にご理解いただくことを主眼にしています。2021年3月期は、価値創造モデルや価値創造事例などの「OUR VALUE」、それを支える「OUR PLATFORM」という構成を中心に説明しています。「事業活動を通じて社会に貢献する」というオリックスの基本的な考え方と、中長期的な価値創造の道筋をご理解いただければ幸いです。

なお、より長期的な目線で持続可能な成長を目指すオリックスについては、当社発行「サステナビリティレポート」をご覧ください。

お問い合わせ先

オリックス株式会社 IR・サステナビリティ推進部

TEL：03-3435-3121

URL：<https://www.orix.co.jp/grp/contact/inquiry-jp.html>

情報体系図

主な情報開示の体系

オリックスは、株主・投資家をはじめとする幅広いステークホルダーの皆さまに、持続的な成長を多面的にご理解いただくために、複数の媒体で情報を開示しています。

主な内容	年次報告書	最新の情報
非財務	 サステナビリティレポート	 グループサイト 「サステナビリティ」
財務	 統合報告書 有価証券報告書 ／Form 20-F	 グループサイト 「投資家情報」

Contents

INTRODUCTION	01
CEO MESSAGE	06
OUR VALUE	15
OUR PLATFORM	25
CORPORATE GOVERNANCE	36
OUR STRATEGY	51
DATA	68

数字で見るオリックス

オリックスは1964年にリース会社として設立以降、新たな事業分野に進出し、今では世界で類を見ないユニークな会社になっています。

ここでは、現在のオリックスの概況をご紹介します。

※別途記載がない限り、2021年3月期もしくは2021年3月末時点のデータに基づいて作成しています。

業績

当期純利益

1,924億円

ROE

6.4%

新型コロナウイルス感染症流行の影響を受けつつも、安定した利益を確保しました。

黒字継続

56年

規律ある経営により、設立翌年以降、連続で黒字を達成しています。

再生可能エネルギー事業 設備容量

3GW^{*1}

グローバルで再生可能エネルギー事業に取り組み、日本ではトップクラスの事業者です。

株主還元

1株当たり配当金と配当性向

78円(50%)

自社株式取得

543億円

安定的・継続的な配当と弾力的・機動的な自社株式取得を実施しています。

グローバルネットワーク

31カ国・地域

1971年の香港進出以降、海外ネットワークを拡大しています。

国内プライベートエクイティ投資事業 IRR

30%^{*2}

グループネットワークや専門性を活用し、高いIRRを実現しています。

健全性

信用格付 **A格以上**

高い流動性を維持し、財務の健全性を保っています。

従業員数

33,153名

持続的な成長を支えるさまざまな人材が活躍しています。

アセットマネジメント事業 運用資産残高

50兆円^{*3}

グローバルにアセットマネジメントビジネスを展開しています。

*1 オリックスの持分比率および個別プロジェクトの出資比率を考慮して算出した数値。2021年3月末時点でクローリング手続き中の案件(Elawan Energy S.L.、2021年7月にクローリング済)の設備容量も含む。

*2 2012年以降の投資案件(8件)のExitの平均値

*3 ORIX Europe、ORIX USA、不動産の各セグメントがアセットマネジメント事業で運用する資産残高の合計

多角的な事業ポートフォリオ

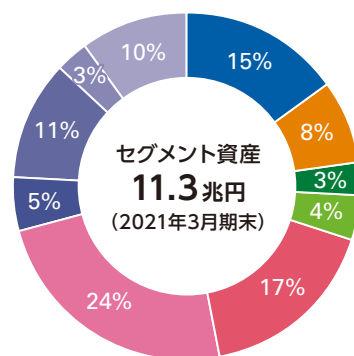
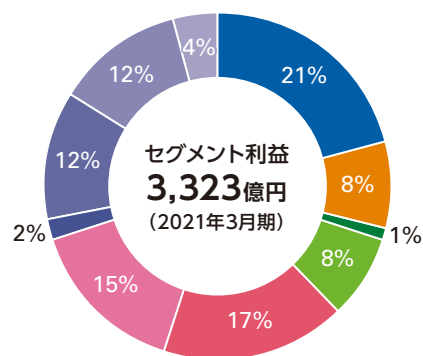
多岐にわたる事業領域

オリックスは、お客さまの多様化するニーズや経済環境の変化に対応する中、各事業の専門性を高め、自らを柱におさめることなく成長してきました。リースを起点に広がった事業領域は、現在では多岐にわたり、法人および個人のお客さま、また地域コミュニティや社会インフラに対し、多種多様な商品・サービスを提供しています。

10セグメントと16事業ユニット

社会の変化に合わせた事業ポートフォリオの構築こそが、オリックスの持続的な成長につながっています。現在、オリックスの展開する主な事業内容は右表のとおりです。それぞれのセグメントおよび事業ユニットが独自の強みを最大限に発揮しており、また他のセグメントと商品・サービスを相互に提供できる体制を構築するなど、相乗効果も生み出しています。

➡ P.51 「セグメント別概況」



セグメント	事業ユニット	主な事業内容
法人営業・メンテナンスリース	法人営業	中堅・中小企業向けリース・融資・ソリューション(各種商品・サービス)
	弥生	業務ソフトウェア開発・販売およびサポートサービス
	自動車	自動車リース・レンタカー・カーシェアリング、中古車販売・売却サポート
	レンテック	電子計測器・ICT関連機器などのレンタルおよびリース
不動産	投資・運営	オフィスビル・商業施設・物流施設などの開発・賃貸、アセットマネジメント、ホテル・旅館・水族館などの施設運営
	大京	分譲マンションを中心とした不動産の開発、流通、建物の維持管理
事業投資・コンセッション	事業投資	国内外のプライベートエクイティ投資
	コンセッション	空港や下水処理場の運営
環境エネルギー	環境エネルギー	国内外の再生可能エネルギー、電力小売、省エネルギーサービス、ソーラーパネル・蓄電池販売、廃棄物処理
保険	生命保険	医療保険や死亡保険などの生命保険
銀行・クレジット	銀行	投資用不動産ローン、法人融資、カードローン、信託業務
	クレジット	カードローン、他の金融機関が取り扱う無担保ローンの保証、住宅ローン(フラット35)
輸送機器	輸送機器	航空機および船舶のリースやアセットマネジメントサービス
ORIX USA	ORIX USA	米州における金融、投資、アセットマネジメント
ORIX Europe	ORIX Europe	欧州・米国を中心としたアセットマネジメント
アジア・豪州	アジア・豪州	アジア・豪州を中心とした金融や投資

ポートフォリオの3分類

オリックスが展開する多角的な事業ポートフォリオを、そのビジネス特性により「金融」「アセットマネジメント・保険」「事業・投資」の3つのカテゴリーに分類しました。3分類と10セグメントのマトリクスとその構成要素は、下表のとおりです。
また、3分類をさらに新型コロナウイルス感染拡大による影響度の大小で分けています。

		3分類		
		金融	アセットマネジメント・保険	事業・投資
セグメント	法人営業・メンテナンスリース	法人営業		自動車、レンタル、 サービサー、弥生
	不動産		アセットマネジメント	不動産投資、大京
	事業投資・コンセッション			プライベートエクイティ投資
	環境エネルギー			環境エネルギー
	保険		生命保険	
	銀行・クレジット	銀行、クレジット		
	輸送機器			船舶
	ORIX USA		アセットマネジメント、 貸付金、債券投資	プライベートエクイティ投資
	ORIX Europe		アセットマネジメント	
	アジア・豪州	リース、貸付金		プライベートエクイティ投資
		コロナ影響度		
		コロナ影響小		コロナ影響大

※ポートフォリオの3分類による利益の推移については、P.13「今後の見通し」をご参照ください。